

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	静岡大学情報学部			代表者名	笹原 恵
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域連携推進室	連絡先電話番号	053-478-1533
担当者役職	准教授	担当者氏名	藤岡伸明	連絡先E-mail	
住所	432-8011 静岡県浜松市中央区城北3-5-1				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	浜松市	連絡先部署	広聴広報課		
担当者氏名	原 賢輔	連絡先電話番号	053-457-2021	連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	アイデアソン・データソン		
概要	オープンデータの利活用をテーマとするアイデアソン・データソンにおけるファシリテーター				
支援を求める分野	オープンデータ				

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年6月1日	支援・助言(実地)	10時00分	18時00分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	静岡大学浜松キャンパス		最寄駅	浜松駅
	所在地	静岡県浜松市中央区城北3-5-1		最寄駅からの交通手段	バス

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	6/1のデータソンは、静岡大学浜松キャンパスにて、静岡大学の学生19名、静岡文化芸術大学の学生2名、一般社団法人シビックテックラボの若手スタッフ2名、計23名の参加者を集めて実施された。今回は移動や交通に関する地域課題に注目する参加者が多かったためグループ分けが難航したが、市川氏が移動・交通という大きな括りの中で課題をさらに明確化するよう促した結果、バスを中心とした公共交通網の改善、夜間に安心して歩ける街づくり、自転車で安全に移動できる街づくり、イベントやマーケットを開催しやすい道が多い街づくりというグループに分かれ、移動・交通という地域課題を多面的に検討することができた。またグループ別の地域課題分析、課題解決策考案、最終発表準備においては、各グループの強みと弱点を的確に指摘し、分析と解決策の質を向上させるシーンが随所に見られた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	23人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	0	0	2	21

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今回実施するアイデアソン&データソンでは、参加者（大学生を中心とする若年層）の立場から幸福な状態（Well-being）を定義し、若者にとって幸福な状態と浜松地域の実態を照らし合わせながら地域課題を発見・分析し、その解決策を考案する。この過程において、Well-being指標を中心にオープンデータを有効活用することをめざす。しかしながら、大学生は日常生活でWell-being指標やオープンデータを意識することがほとんどないため、まずWell-being指標やオープンデータとは何かを理解し、どのようなデータを利用して何を明らかにすることが可能か（あるいは不可能か）を学ぶ必要がある。
-----------------------	---

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	2日目のデータソンでは、アイデアソンで注目した地域課題を分析したり解決策を考案したりするためにはWell-being指標やオープンデータをどのように活用すべきか、既存の指標やデータを課題の分析や解決策考案に活用できない場合にどのような新規データの収集・取得が必要かを綿密に検討することにより、課題解決の実現(実装)可能性を少しでも高めることを目標とした。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	1日目のアイデアソンに引き続き、参加者が利活用可能なオープンデータを多数ご教示いただいた。全国レベルだとe-Stat, RESAS, 自治体レベルだとふじのくにデータカタログや自治体ウェブサイトの公開データ、そして浜松市が持つオープンデータなどについて、その活用の仕方も示唆しながら丁寧に説明いただいた。また、今回のデータソンでは浜松市内の地域別人口や交通事故の発生状況に注目するグループがあったため、オープンひなたや静岡県警のデータを用いて、必要なデータを地図に落とし込む技法について丁寧に説明していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アイデアソンで注目した地域課題をより深く分析したり、考案した課題解決策をより実現(実装)可能性の高いものに発展させたりするために、参加者がグループごとに仮説検証、パラメータ分解、パラメータ向上のアイデア出しを行い、課題の分析と解決策の改善に取り組んだ。参加者はこれらのグループワークを通じて、漠然とした課題解決策から、事実・データに裏打ちされた課題解決策へと発展させた。たとえば、浜松市天竜区の豊富な自然資源を活用して市民のwell-being向上をめざすというアイデアを考案したグループは、アイデアソンの段階では浜松市民の健康状況や天竜区のレジャー施設などについて具体的なデータを持っていなかったが、データソンの結果、天竜区の養蜂場を中核に据えた体験型・自然参加型の総合レジャーエリアを創出するという具体的なアイデアを考案することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑦その他
	23名の参加者が関心を共有する6つのグループに分かれて関心のある地域課題を分析し、その解決策をチームごとにPPTスライドにまとめ、全員の前で発表した。アイデアソン&データソンの成果物は各グループが作成したこのPPTスライドである。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	2日目のデータソンでは、多くの参加者がWell-being指標や自治体のオープンデータを活用して地域課題を詳細に分析したりその解決策を多面的に検討したりするところまで到達できた。その一方で、課題解決策を他者に説明するためのポスター、タッチボードのデザイン案、アプリのインターフェース案などを念入りに作り込むところまで到達できるグループは少なかった。その結果、せっかく考案したアイデアの良さをしっかりアピールできないグループが散見された。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 授業の最終回にアイデアソン&データソンを含む授業アンケートを実施する予定である(アイデアソン&データソン参加者のうち静岡大学の学生は、「情報・コミュニティ演習」という専門科目の履修者である。この授業は7月まで続くため、授業終了時にアンケートを取ることが望ましいと判断した)。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ⑤その他
	今回と同様のアイデアソン&データソンを毎年度実施する予定である。本イベントの参加者がオープンデータチャレンジや自治体のハッカソンといったコンテストに出場し、コンスタントに優秀な成績を収めることも重要な目標である。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今回の同様のアイデアソン&データソンを定期的に関催することを通じて、オープンデータを手段として使いこなす知識・スキルと、地域課題に対する主体的姿勢を兼ね備えた若者を多数育成することにより、オープンデータのポテンシャルが若い層からボトムアップ的に発揮・開花されるような活力ある地域社会を創造したい。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
<b>なお&lt;その他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b>		

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



アイデアソン後に集めたデータの確認と足りない部分の補完法を説明する市川氏



グループワークの様子



浜松市の依頼により、浜松ケーブルテレビの取材が来ました



最終発表の様子:バスを中心とする公共交通網の改善案について



発表に対するゲスト審査員(浜松市デジタル・スマートシティ推進部部長)からのコメント



アイデアソン&データソン2024のグラフィックレコード